

# 令和3（2021）年度 【社会と情報】

68 新潟県立高田南城高等学校(通信制)

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
2	必履修	4	4	2

教科書	学習書・他教材
社会と情報（東京書籍）	なし

## 学 習 目 標

- 1 情報機器や情報通信ネットワーク等を活用し、情報を適切に収集・処理発信するための基礎的な知識と技能を習得する。
- 2 情報を主体的に活用しようとする態度を身に付ける。

## 学 習 計 画

学 習 項 目	学 習 内 容	試験範囲
1 情報を活用する  2 ネットワークを検索する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近にあるコンピュータ、道具としてのコンピュータ、コンピュータを利用した問題解決、人間の情報処理とコンピュータ</li> <li>○ 情報通信ネットワークの普及、WWWの活用、電子メールとその活用、情報の表し方と取り扱いネットワーク上のエチケット、プライバシーの権利、知的財産権</li> <li>○ 情報の表現とコンピュータ、文章表現と図による表現の違い、文章表現の工夫、体裁の工夫、マルチメディアの活用、情報の統合と構成</li> </ul>	前期試験
3 情報社会の課題をみつける  4 望ましい情報社会に向かう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報機器のしくみ、情報のデジタル化、コンピュータの移り変わり、ネットワークの移り変わり</li> <li>○ 情報化による生活の変化、情報化が社会に及ぼす影響、情報モラル、情報社会への参加</li> </ul>	後期試験

## 評価規準と評価方法

①関心・意欲・態度	②思考・判断・表現	③技能	④知識・理解
コンピュータや情報ネットワークなどの情報メディアに関心を持ち、身近な課題として取り組むことができる。	情報表現に適切なメディアの選択ができる。情報社会における情報モラルやマナーを身につけている。	適切な方法で情報収集ができ、プレゼンテーションソフトを活用して効果的に情報の発信ができる。	情報ネットワークの基本的な仕組みを理解し、情報化が社会に及ぼす影響について正しく認識できる。

・全体の評価は定期試験の成績及び提出レポートの評価をベースに授業への取り組み姿勢等を加味して総合的に評価します。

## 授業の進め方、課題・提出物など

- ・スクーリングはレポート（報告課題）の内容に沿って実施し、スクーリング時に実習も行いますので積極的に参加してください。

## 担 当 者 か ら

- ・レポートの提出は期限を厳守してください。期限を過ぎるとレポートの評価が下がり、総合評価に大きくひびきます。また、学習内容は皆さんの身近な題材もたくさんありますので、学習内容を実生活に生かして、情報ネットワークを主体的に活用できる力をつけてください。

